

科目名	日本の文学と文化(講義)		科目ナンバー	LA-CA2143		
担当者 (実務経験名)	講師 松本 美耶					
履修期	1年 後期		卒業単位	選択必修 2単位		
免許・資格						
授業概要	平安時代に誕生した散文作品(物語、日記)に触れながら、当時の貴族のライフスタイルについて学ぶ。特に、文学の担い手となった中流貴族の女性たちのキャリアや結婚についての知識を深め、興味・関心を持つ。					
到達目標	知識・理解	平安時代の貴族の生活やしきたり、風習に関する知識を深めることができる。				
	思考・判断	古き日本の文学や文化を知り、人間の不変性や多様性について考察することができる。また、自身の今後のライフスタイルについて考えるきっかけとなる。				
	興味・意欲・態度	古典文学に興味・関心を持つことによって、さらに他の時代やジャンルの文学や日本の文化について考察することができる。				
	技能・表現	授業で取り上げたテーマに関して、自身で調べる技術や、他者に説明するための表現力を身につけることができる。				
授業計画	授業内容		事前事後学習内容		時間 (時間/週)	
	1	オリエンテーション	シラバスの授業内容を読んでおくこと。		4	
	2	平安時代の文化と風習(1) -平安京について-	平安時代の都であった平安京について、また平安京に住む人々について調べておくこと。		4	
	3	平安時代の文化と風習(2) -平安時代の年中行事-	平安時代のイベント(行事、祭り)について調べておくこと。		4	
	4	平安時代の文化と風習(3) -平安時代の占い-	平安時代の占いについて調べておくこと。		4	
	5	平安時代の文化と風習(4) -平安時代の占い②-	第4回の講義で学んだ内容をおさらいし、整理しておくこと。		4	
	6	平安時代の貴族の生活について	第2回から第5回の講義で学んだ内容をおさらいし、整理しておくこと。		4	
	7	平安時代の恋愛と結婚	現代の婚姻制度や恋愛について考えておくこと。		4	
	8	大納言道綱母の場合 -『蜻蛉日記』-	大納言道綱母について調べておくこと。		4	
	9	和泉式部の場合 -『和泉式部日記』-	和泉式部について調べておくこと。		4	
	10	清少納言の場合(1) -『枕草子』①-	清少納言について調べておくこと。		4	
	11	清少納言の場合(2) -『枕草子』②-	第10回の講義で学んだ内容をおさらいし、整理しておくこと。		4	
	12	紫式部の場合(1) -紫式部の少女時代-	紫式部について調べておくこと。		4	
	13	紫式部の場合(2) -紫式部の恋と結婚について-	第12回の講義で学んだ内容をおさらいし、整理しておくこと。		4	
	14	紫式部の場合(3) -紫式部の宮仕え-	第13回の講義で学んだ内容をおさらいし、整理しておくこと。		4	
	15	まとめ、レポート作成	これまでの講義内容をまとめておくこと。		4	
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験					
	レポート	○	○		○	60%
	課題	○	○		○	20%
	実技					
	受講状況・態度 その他()			○		20%
フィードバックの方法	毎回、授業の最後にコメントカードを記入していただきます。授業の中で考えたことや気づいたことを記入して提出してください。コメントカードの内容の共有、また質問に対する回答は、次の授業の最初に行います。					
教科書	毎回、資料を配付します。					
参考書	授業中に適宜紹介します。					
アクティブ・ラーニング						
ICT活用	eラーニングサイトを利用し、課題提出を行います。					
メッセージ・備考	平安時代の散文作品はほとんどが中流貴族の家の娘たちによって書かれたものです。彼女たちはフィクションを通じて、当時の世情や自身の考えを綴っています。恋や人生に悩みながら逞しく生きるその姿は、現代の私たちのそれに重なるものもあるでしょう。					
関連科目	文学関連全般					